



■ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、日頃より当支所の活動・運営にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度はすでに、講演会を3回、見学会(平城宮遷都記念事業大極殿正殿復原工事ほか)を2回開催し、会員の皆様に多数ご参加頂きました。本年も引き続き、各種の活動を計画しておりますので、奮ってご参加下さい。三重支所のメールマガジンも輪が広がってきつつありますが、さらに多くの方々にご講読いただき、会員の皆様とともに支所活動を進めていけるように努めたいと考えております。本年も会員の皆様の一層のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

日本建築学会東海支部三重支所長 石川幸雄
(三重大学大学院工学研究科 教授)

■見学会の報告

1. ウィンドパーク美里見学会

日時：2008年11月14日(金) 13:00~17:00

場所：ウィンドパーク美里

主催：日本建築学会東海支部三重支所

概況：本州最大級の規模を誇る青山高原一帯の風力発電施設のひとつ「ウィンドパーク美里」を(株)シーテックの川上氏の案内で見学しました。青山高原は、1)交通の便(道路)、2)適度な風、3)送電線が通っている、という3つの要素が全て備わっているため、風力発電の適地であるそうです。当日は発電機のタワー内部にも入ることができました。質疑では、音の問題、生態系への配慮(鳥等)等の活発な意見交換が行われました。参加者数は13名でした。



2. 平城宮遷都記念事業大極殿正殿復原工事見学会

日時：2008年12月8日(月) 9:00~17:00

場所：唐招提寺、平城宮跡・朱雀門、大極殿復原現場

主催：日本建築学会東海支部

概況：午前は、国宝唐招提寺金堂の平成大修理の現場を視察しました。奈良県教育委員会の山田宏氏により、金堂の模型を使って説明が行われ、構造補強の方法などについて活発な質疑応答がされました。その後、外部から金堂の見学を行いました。午後より、平城宮跡の散策および朱雀門の見学を行った後、大極殿復原現場を視察しました。奈良国立文化財研究所の窪寺茂氏より、復原の方法や工事の内容などについて説明がされ、大極殿の内部や免震装置などの基礎部分、素屋根に上って屋根部分の見学などを行いました。参加者数は33

名でした。



■講演会の報告

1. 谷口元氏・松岡利昌氏・恒川和久氏講演会「大学におけるファシリティマネジメントの意義」

日時：2008年9月27日(土) 14:00~16:00

場所：三重県総合文化センターB1F 小ホール

主催：三重大学工学部建築学科、日本建築学会東海支部三重支所
概況：名古屋大学のキャンパスマスタープランの変遷・名古屋大学における戦略的ファシリティマネジメントの実践・大学キャンパスにおけるエネルギーマネジメントおよび大学における施設運営費ベンチマーキングに関する取り組みなどについて、講演が行われました。その後、活発な質疑討論がなされました。参加者数は87名でした。



2. 大野二郎氏講演会「ソーラーアーキテクチャー」

日時：2008年12月2日(火) 14:00~16:00

場所：三重大学工学部情報工学科棟1階多目的会議室

主催：三重大学工学部建築学科、日本建築学会東海支部三重支所
概況：(株)日本設計の大野氏により、IPCC第4次報告書の概要や地球温暖化防止に対する日本の現状などについて説明があり、日本・欧州・中国などにおけるソーラーアーキテクチャーの事例が紹介されました。最後に環境創造マネジメントセンターの取り組みについての紹介などがありました。講演後、ソーラー利用とCO2排出量削減効果、CO2削減目標達成とライフスタイルの変化、地球環境保護と建築家倫理等の活発な質疑討論がなされました。参加者数は25名でした。

